

第27回 GM維持管理推進委員会議事録

1. 開催日時 2022年 5月13日(金) 10時00分～12時00分

2. 開催方法 リアル会場：TKP 麹町駅前会議室8C
オンライン：テレビ会議ツール「Zoom」

3. 参加者 (敬称略)

委員長	吉開 守 (リアル)
副委員長	井上 好道 (オンライン)
委員	松村 孝 (オンライン)
同	水島 高弘 (オンライン)
同	清水 孝 (リアル)
同	山下 俊哉 (リアル)
同	荒木 勇輝 (リアル)
同	手嶋 泰三 (リアル)
代理出席	森本 雅樹 (リアル)
オブザーバー	竹中 史朗 (リアル)
事務局	大石 直豪 (リアル)
欠席	清水 壱浩

議事経過

初めに事務局より開催宣言と本日の委員会の出席状況について報告があった。

その後、吉開委員長より「昨年度の成果として下水道台帳システム手引きVer. 5にGMの情報項目が記載され、更に国交省が今年度4月より下水道情報のデジタル化支援事業を創設し、台帳図のデジタル化に国費を活用することでDX化の促進を図る動きを見せている。我々もGMの維持管理情報が整理・把握されればGM維持管理計画に繋がり更新需要創出につながるものと期待出来る為、今までの活動を振り返り今年度は新たな活動も展開していきたいので、活発な議論をお願いしたい。」との挨拶があり、議題に入った。

議題1：令和3年度 委員会活動評価／支部別活動評価の共有について

事務局より本編資料に基づいて、今年度の活動状況について詳細な説明と報告があった。

1. GM更新計画の普及啓発活動

- 1) 地整/県への活動 : 本編資料通りに説明があった。
- 2) 水コン協への活動 : 本編資料通りに説明があった。
- 3) 管診協との取組み : 本編資料通りに説明があった。(8月5日下水道展で講習実施)
- 4) 管路協への活動 : 本編資料通りに説明があった。

2. GM維持管理における基盤整備

- 1) 国交省雛形資料へのGM追記と周知拡大: 本編資料通りに説明があった。
- 2) 白本へのストマネ計画策定歩掛_GM編の反映に向けた動向把握: 本編資料通りに説明があった。

3. GM維持管理の広報活動

- 1) 下水道事業団(JS)研修会への講師派遣: 本編資料通りに説明があった。
- 2) マンガ広報誌を活用したGM改築の予算獲得: 本編資料通りに説明があった。
その後、手嶋委員より添付資料-1のマンガ広報誌第2弾案について、委員各位からの意見を踏まえて前回委員会からの変更点について詳細な説明があった。
更に、不適切な表記もあるため今後修正するとの報告があった。
また、その他に意見があれば5月20日までに事務局へ連絡するように委員各位へ要請があった。
- 3) マスメディアを活用した企画記事 : 本編資料通りに説明があった。

4. その他

本編資料に基づいて説明があった。

続いて、各支部別責任者が作成した支部別評価について、本日参加の委員と支部責任者代理より報告があった。

北海道支部：手嶋委員
東北支部：井上副委員長
関東支部：手嶋委員
中部支部：事務局
関西支部：荒木委員
中四国支部：山下委員
九州支部：手嶋委員

その後、委員長より、コロナ禍で研修が難しい時期を越えて、Withコロナの流れになりつつあり、研修内容が伝わり難い状況もあるものの、研修は様々な手段を用いて開催可能な準備をしているため、継続した開催をお願いしたいとの補足説明があり、議題1を終えた。

議題2：令和4年度 委員会活動計画／支部別計画の共有について

吉開委員長より、当委員会の令和4年度活動計画（案）と添付資料-2に基づいて詳細な説明があった。

更に、事務局より老朽化GM数の更新について、プレスリリース案に基づいて説明があった。尚、このプレスリリースは、今後国交省へ事前共有を図った上でリリース活動を行うことが報告された。

続いて、各支部別責任者が作成した支部別計画について、活動評価と同様に本日参加の委員と支部責任者代理より説明があった。

続いて、手嶋委員より今年度の研修会等で使用するPPTツール（Ver. 8）について、資料とPPTツールを用いて全体構成と（Ver. 7）からの変更点について説明があった。

その後、表記の色彩等について意見が交わされ議題2を終えた。

その他：老朽化GM数更新プレスリリース案等

事務局より、老朽化GM数の更新プレスリリースについては前号議案で紹介したため割愛し、当工業会のHPや研修会PPTを始めとする活動ツールに使用する新聞記事等の2次利用に関する承諾依頼書（雛形）を作成した内容について説明があった。

更に、今年度の当委員会名簿の説明があり修正等がある場合には事務局へ連絡する旨、案内があった。

以上により本日の議事を終え、最後に井上副委員長より、「本日の説明にあった、PPT資料の下水道賠償責任保険支払い件数の中で、過去15年と2020年のデータでGMの損傷劣化が全体の3割を占めることを踏まえ、老朽化した350万基のGMが年間35万基の更新が実現されるように工業会全体でベクトルを合わせて進んでいきたい。」と挨拶があり委員会を終えた。

この議事録を証するため、委員長次に記名押印する。

2022年 5月13日

一般社団法人
日本グラウンドマンホール工業会

GM維持管理推進委員会委員長 吉開 守

吉
開